

令和6年産水稻の西南暖地における早期栽培等の作柄概況（7月15日現在）

— 西南暖地の早期栽培及び沖縄県第一期稲の作柄は、 —
「平年並み」の見込み

【作柄予測結果の概要】

気象データ（降水量、気温、日照時間、風速等）及び人工衛星データ（降水量、地表面温度、日射量、植生指数等）から作成される予測式に基づき予測した令和6年産水稻の西南暖地の早期栽培及び沖縄県の第一期稲の作柄は、ともに「平年並み」が見込まれる。

これは、田植期以降、4月上旬から下旬にかけて日照不足で推移したものの、その後の天候におおむね恵まれたためである。

表 令和6年産水稻の西南暖地における早期栽培等の作柄概況（7月15日現在）

区 分	作柄の良否 (平年比較)
徳 島（早期栽培）	平年並み
高 知（早期栽培）	平年並み
宮 崎（早期栽培）	平年並み
鹿 児 島（早期栽培）	平年並み
沖 縄（第一期稲）	平年並み

- 作柄概況（7月15日現在）は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行ったものである。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。
- 作柄予測の対象は、西南暖地における早期栽培等の区域としている。
- 西南暖地における早期栽培等の区域は、8月中旬頃までに刈取りがおおむね終了する早期栽培の面積割合がおおむね3割以上を占める徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県の早期栽培並びに二期作栽培のうちの沖縄県の第一期稲としている。
- 作柄の良否は、気象データ及び人工衛星データを説明変数、10a当たり予想収量を目的変数として予測式（重回帰式）を作成し、予測したものである。なお、10a当たり予想収量は、未確定の要素が多いことから公表することとしていない。
- 本表における平年比較の表示区分は、「平年並み」が対平年比 101～99%に相当する。
- 全国の水稲の収穫量に占める西南暖地の早期栽培等の割合は、令和5年産で 1.3%となっている。

◎ 累年データ

1 西南暖地における早期栽培等の10a当たり収量及び作況指数の推移

区 分	平成30年産		令和元		2		3		4		5	
	10a当たり 収 量	作況 指数	10a当たり 収 量	作況 指数	10a当たり 収 量	作況 指数	10a当たり 収 量	作況 指数	10a当たり 収 量	作況 指数	10a当たり 収 量	作況 指数
	kg		kg		kg		kg		kg		kg	
徳 島	466	101	456	98	453	98	455	98	473	102	450	97
高 知	465	97	455	95	454	94	475	98	488	101	485	101
宮 崎	476	100	459	96	469	98	481	101	502	104	487	102
鹿 児 島	450	101	438	98	443	97	461	101	465	101	469	102
沖 縄	364	101	331	92	367	102	355	99	343	94	350	97

資料：農林水産省統計部『作物統計』（以下2まで同じ。）

注：1 10a当たり収量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

2 作況指数は、10a当たり平年収量に対する10a当たり収量の比率であり、以下により算出している。

令和元年まで： 全国農業地域ごとに、過去5か年に農家等が使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅で選別された玄米を基に算出。

令和2年以降： 都道府県ごとに、過去5か年に農家等が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅で選別された玄米を基に算出。

2 西南暖地における早期栽培等の収穫量の推移

区 分	平成30年産			令和元			2		
	収 穫 量	早 期 栽培等	割 合	収 穫 量	早 期 栽培等	割 合	収 穫 量	早 期 栽培等	割 合
	t	t	%	t	t	%	t	t	%
徳 島	53,600	20,500	38	52,400	19,800	38	52,400	19,300	37
高 知	50,700	30,100	59	47,900	29,300	61	48,900	29,000	59
宮 崎	79,400	30,500	38	74,900	28,900	39	76,000	28,800	38
鹿 児 島	92,400	19,500	21	88,500	19,100	22	88,400	19,700	22
沖 縄	2,200	1,920	87	2,000	1,670	84	2,090	1,760	84

区 分	3			4			5		
	収 穫 量	早 期 栽培等	割 合	収 穫 量	早 期 栽培等	割 合	収 穫 量	早 期 栽培等	割 合
	t	t	%	t	t	%	t	t	%
徳 島	47,900	17,900	37	47,600	17,900	38	45,700	16,900	37
高 知	49,600	29,400	59	49,700	29,300	59	46,800	28,000	60
宮 崎	77,800	29,200	38	75,200	28,800	38	71,400	27,000	38
鹿 児 島	89,100	20,200	23	86,000	19,800	23	83,400	18,400	22
沖 縄	2,160	1,710	79	1,920	1,620	84	1,850	1,540	83

【統計表】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files/data?sinfid=000040184520&ext=xls>

【作柄予測の概要】

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/gaiyou/

【水稻の作柄予測及び水稻調査結果の主な利活用】

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の策定のための資料
- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料
- ・ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業の適切な運営のための資料

【ホームページ掲載案内】

本資料は農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「作付面積・生産量、家畜の頭数など」、品目別分類「米」の「作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y1

【関連リンク】

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局

<https://www.maff.go.jp/j/nousan/>

お問合せ先

◎本統計について

農林水産省 大臣官房統計部
生産流通消費統計課 普通作物統計班
電話：（代表）03-3502-8111 内線3682
（直通）03-3502-5687

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 統計広報推進班
電話：（代表）03-3502-8111 内線3589
（直通）03-6744-2037



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



2025年農林業センサス（令和7年2月1日現在）を下記の期間に実施します。
令和6年12月中旬～令和7年2月末 農林業経営体調査
令和7年1月中旬～令和7年2月末 農山村地域調査（市区町村調査）
令和7年10月上旬～令和7年12月末 農山村地域調査（農業集落調査）

